

自転車盗が多発しています

愛知県内では、現在、犯罪が増加傾向にあり、その一因として、自転車盗の多発があげられます。

これは蒲郡市でも例外ではなく、駅の駐輪場を中心に多発しています。

今号では、自転車盗の現状と予防方法についてお知らせします。

安全安心課 ☎66♦1156
蒲郡警察署 ☎68♦0110

9月から設置された
駐輪場の防犯カメラ

駅駐輪場で被害が多発！

市内の被害は、駅の駐輪場が最も多く、全被害の約60%を占めます。最も被害の多いのは蒲郡駅の駐輪場で、全体の20%弱にあたる24件の被害が発生しています。

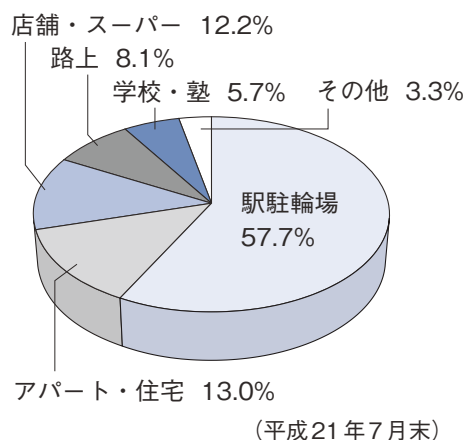
また、被害者の約40%は高校生で、中学・大学生をあわせると、学生だけで70%近くを占めています。

自転車盗発生場所

発生場所	件数
蒲郡駅駐輪場	24
三谷駅駐輪場	20
塩津駅駐輪場	10
鹿島駅駐輪場	8
大塚駅駐輪場	6
その他	55

※数字は平成21年7月末現在

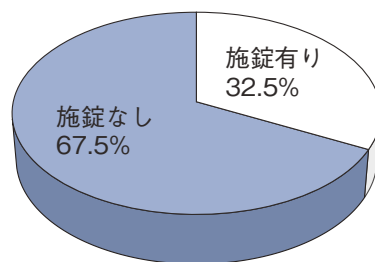
自転車盗被害場所状況（市内）



カギのかけ忘れに注意。基本はツーロック。

市内では、無施錠で被害にあうケースが多くなっています。施錠を徹底することで、被害をかなり防ぐことができます。また、カギを2つ以上かけると、犯人の犯行意欲を削ぐというデータもあります。ワイヤー錠などの補助錠を使用し、ツーロックにしましょう。

自転車盗施錠状況（市内）



自転車錠のJIS規格改正

近年、施錠された自転車の盗難も多く見られることから、日本工業規格（JIS規格）において規定されている自転車に使用する錠の規格が改正されました。

現在、多くの自転車に取り付けられている馬蹄錠は、「プレス式」というものですが、構造が単純なため不正に開錠されやすいという欠点がありました。このため、プレス式の馬蹄錠は今回の改正でJIS規格から除外されました。また、「箱形錠」は、補助錠としての位置づけで、単独使用の場合はJIS規格から除外されました。

今後、自転車を購入する場合は、JIS表示のある防犯性能の高い錠が取り付けられた物を選びましょう。また、現在「プレス式」錠を使用している方は、JIS規格に適合したワイヤー錠などを補助錠として使用し、被害防止に努めましょう。

